



特集・土木と海洋工学

昭和43年12月21日午後9時51分(日本時間)、人類初の月に挑む有人飛行が開始された。アポロ8号宇宙船はアメリカ合衆国ケネディ基地の第39発射台から赤い炎ともものすごい煙を噴き出してスペースマン3人を遠い宇宙へと送り出した。

ときを同じくして、われわれ人類の大いなる挑戦はアウトースペースが軌道にのったことから、インナースペース、すなわち海底へと自然に関心に移りつつある今日である。

海洋——このはてしないひろがり、海国日本にとって無限のエネルギーを与え続けてくれるものであり、その開発への努力は明日の日本の命運をかけているといっても過言ではないだろう。海底への進出は、①海底資源の利用、②生活圏の拡大、③海底開発に取り組むことによって得られる科学技術の波及効果など大なるものがあり、海岸工学などわが国の高度な学術水準をもってすれば闘うに十分な分野といえよう。

本特集は、これら熟してきた海岸開発の機運を土木技術者として如何ように受け止めるべきか、また考えるうえでの基礎となるべきことはどうかなどを目標に編集した。わが国の海洋工学の水準は決してよろしくないといわれるときに当り、多くの関係者の総力を結集して、よりよい成果をあげたいと願うところである。